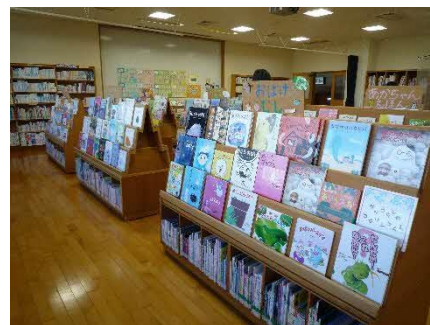


おはなしレストランライブラリーへの見学

食と子ども系列(生活系列) 保育モデル

発達年齢に応じた絵本や紙芝居を選ぶことができ、読み聞かせの技術向上を図る目的で、食と子ども系列保育モデル2年生(9名)が島根県立大学松江キャンパス内にある絵本・児童書専門の図書館「おはなしレストランライブラリー」を見学しました。(2023. 2. 27)

司書さん、学生さん、大学の職員の方に温かく出迎ええていただき、館内に入ると、絵本は表紙が見えるように展示(右写真)され、2万冊以上の数と種類の豊富さに生徒たちは大変驚いた様子でした。



「私の好きな絵本」というテーマでの自己紹介から始まりました。生徒たちは、幼少期の思い出などに触れながらお気に入りの1冊を紹介しました。

次に司書さんから、大学の説明や「おはなしレストランライブラリー」の紹介をしていただきました。一般の方にも開放されており、地域に開かれた施設であることを知ることができました。

そして、人間文化学部保育教育学科3年生の学生さんから、絵本の選び方、読み方、持ち方について具体的な例をあげ、実演しながら教えていただきました。読む子どもたちのことを考えて絵本を選び、読むことが大切だということを学びました。



見学の後半には、読み聞かせの演習時間があり、本校生徒が読む様子を見てアドバイスをしていただきました。絵本なので、子どもたちに絵が見えるように角度を考慮することや、脇をしめることで絵本が固定されることなどを教えていただきました。

最後に、大型絵本(ビッグブック)「おめんです2」を読んでくださいました。子どもたちにとっても人気のある作品だそうです。



保育モデルの多くが将来保育士を目指し、2年生から保育技術検定に積極的に挑戦し、仁摩小学校や仁万保育園と交流を行っています。今回の見学で教えていただいたことをさまざまな場面で活かしていきたいと思います。見学にあたり、県立大学松江キャンパスの皆様には感謝しています。